

人権問題講演会



「パパは女子高生だった」 ～自分らしく生きること～



前田 良（まえだ りょう）
Like myself 代表
妻と子ども2人の4人家族

【著書】

「パパは女子高生だった」
女の子だったパパが最高裁で
逆転勝訴してつかんだ家族の
カタチ

【DVD】

「パパは女子高生だった！」

参加無料

手話通訳
あり

要申込

「女性」として生まれる

1982年に兵庫県宍粟市（しろうし）に生まれる。中学まで宍粟市で暮らし、高校は県外の女子高へ。その後、東京、大阪で暮らす。31歳の時、家族とともに宍粟市に戻り家族4人で暮らす。

性に違和感

小さい頃から性に違和感をもっていた。20歳の時、「性同一性障がい」心と体の性の不一致と診断をうける。その後名前を変え、パートナーと出逢い、性別を「男性」に戻して結婚する。AID(非配偶者間人工授精)により子どもを授かる。

父親として認められない

ところが、「子どもと血縁関係がないのは明らかだ」とされ、父親として認められなかった。長男は2年間も無戸籍の状態にされる。法務省に署名や陳述書を出すなど、親子関係が認められるよう活動続ける。

最高裁で逆転勝訴する

その後、東京家裁に「戸籍訂正許可申立」を行い、裁判を始める。東京家裁、高裁は「血縁を大事に」し却下、棄却という決定。しかし、最高裁にて大逆転の勝訴を勝ちとる！「ボクを父親として認める」という画期的な決定を手にする。ボクたちの家族のカタチを認め、「ボクは2人の子どもの父親」になった。

「伝える」「知ってもらう」ため講演活動を展開中

「間違った知識ではなく、本当のことを伝え知ってもらう」ため、全国のいろいろな場で、行政職員、教職員や保護者（地域）、子どもたちを対象に、講演活動を展開している。全国を家族と共に走り回っている。

と き：2021年2月26日(金) 13:30～15:00

場 所：立花南生涯学習プラザ（尼崎市大西町1-14-5）

対 象：テーマに関心のある方 先着50人

申込期間：2月4日(木)～定員に達するまで

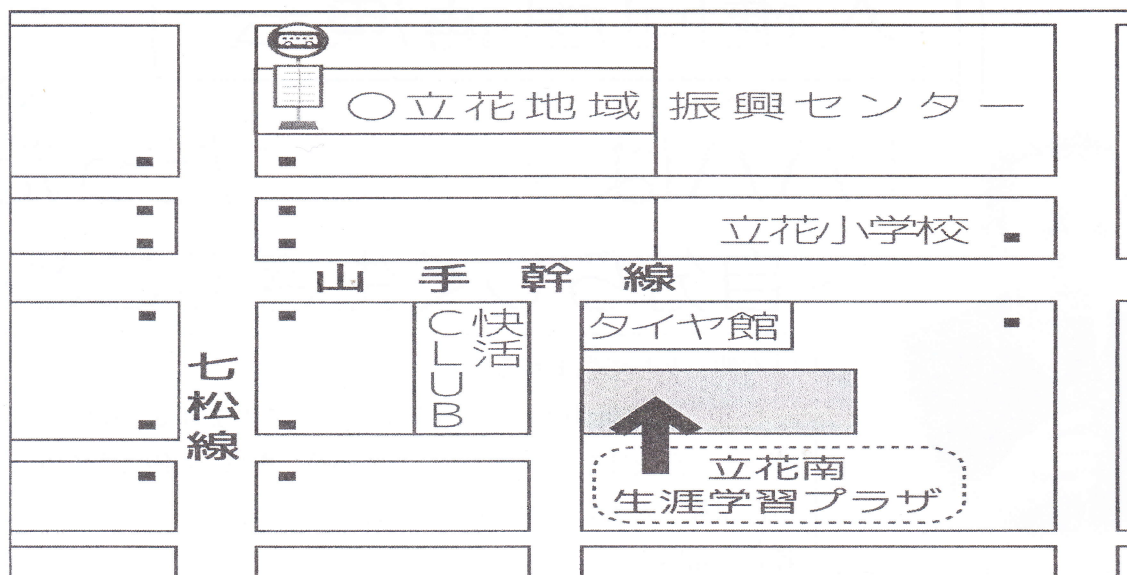
申込方法：尼崎市立地域総合センター上ノ島分館の事務所へ、電話（06-6429-7640）・来館・FAX（06-6429-7644）にてお申込み下さい。

実施場所と異なります

◎主催：公益社団法人尼崎人権啓発協会

◎共催：尼崎市立地域総合センター上ノ島

尼崎市立立花南生涯学習プラザ



阪神バス(旧尼崎市バス)のご案内			
阪急塚口駅	14 番	阪神出屋敷行き	「立花支所」下車
	30 番	武庫川行き	
	31 番	阪神尼崎行き	
JR 立花駅(上)	14 番	阪急塚口行き	
	30 番	阪急塚口行き	
阪神尼崎駅(北)	31 番	阪急塚口行き	

※「立花支所」は現・尼崎市立立花地域振興センターです。お気をつけください。

じんけんスタディツアー

【FAX申込書】 FAX：06-6429-7644
 〒661-0012 尼崎市南塚口町8-22-18
 尼崎市立地域総合センター上ノ島分館 あて

ふ り が な	
お 名 前	
住 所	
電話番号(自 宅)	
電話番号(携帯電話)	
FAX 番号	